

N a n d v o l u n t e e r i n f o r m a t i o n

No.56
2014.7

NPO間および行政との情報交換会

県では、まちづくりや環境、福祉などの多様化する地域の課題を解決するために、NPOと行政との協働や、異なる活動分野のNPO同士の連携が重要であると考えています。

そこで、昨年度に引き続き、行政やNPOがネットワークを形成し、相互理解を深めるための情報交換会を県内4地域で実施しています。今回は、7月に実施した嶺南地域と福井・坂井地域の情報交換会の概要についてご紹介します。

嶺南地域

嶺南地域の情報交換会は、7月8日に小浜市で実施しました。事例発表として、NPO法人森林楽校・森んこ、NPO法人青の里地球まるごと会議などによる自然体験活動や自然保護活動イベントの共同実施、スタッフの相互派遣についての紹介がありました。

福井・坂井地域

福井・坂井地域の情報交換会は、7月10日に福井市で実施し、NPO法人ふくい科学学園から、民間企業との連携による活動内容の拡大についての事例発表がありました。

意見交換

嶺南地域、福井・坂井地域ともに、事例発表後、「行政や他のNPO等との連携」を大きなテーマとした意見交換を行いました。嶺南地域では、目的は共有しつつ、目的達成のための手段は各団体の自主性にゆだねる「ゆるやかな連携」が重要であるという意見が聞かれました。

また、福井・坂井地域では、各団体が得意分野を活かしながら連携して課題を解決していく仮想プロジェクト作りが行われ、農作業を通じた高齢者の介護予防や仲間づくりなどの様々なアイデアが発表されました。



今後の予定

NPO間および行政との情報交換会は、8月中に奥越地域、丹南地域でも開催する予定です。ぜひご参加ください。

お問い合わせ

福井県 総務部 男女参画・県民活動課 県民共動グループ (TEL:0776-20-0237)

あなたも おもちゃドクターになりませんか？

県と環境ふくい推進協議会では、「ものを大切にする社会づくりプロジェクト」として、県民一人ひとりが「ものを大切にする」意識を持ち、大切な資源を有効に活用するライフスタイルに結びつく取組みを展開しています。

その一環として、壊れたおもちゃの修理を通して、子どもたちの「ものを大切にする気持ち」を育むため、おもちゃの修理ドクター養成講座を開催しています。



おもちゃドクター養成講座

おもちゃドクターの養成講座は、平成23年度から実施されており、これまでに209名の方が受講されました。この講座では、おもちゃの修理に関する基礎を学ぶほか、実習も行い、おもちゃを修理することができる人材・グループを育成しています。

養成講座を修了したおもちゃドクターは、県や市町等の環境関連イベントなどで「おもちゃの病院」を開催し、持ち込まれたおもちゃの修理を行っています。県や環境ふくい推進協議会が関わっているものだけでも、これまでに31回の「おもちゃの病院」が開設され、延べ772件のおもちゃ修理の依頼がありました。(平成25年度末現在)

また、県内各地でおもちゃ修理のボランティアグループも設立されており、今年度中には、大野・勝山在住の養成講座受講生を中心とした6つ目のボランティアグループが設立される予定です。

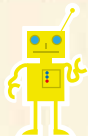
子どもと関わることが好きな方やリサイクルの推進に興味のある方、ぜひ「おもちゃドクター」になってみませんか。



おもちゃドクター養成講座



平成26年6月22日 大野市での「おもちゃの病院」



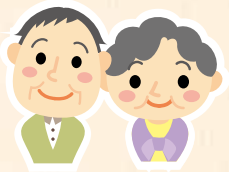
「ものを大切にする気持ち」を 育てています

おもちゃドクターは、おもちゃの修理にあたって心掛けていることがあります。それは、修理を終えたおもちゃを返却する際には、必ず壊れた原因を説明することです。なぜ壊れたかを説明することで、子ども達は、おもちゃが壊れないようにするにはどうしたらいいかを考えるでしょう。また、もし再び壊れてしまった場合にも、自分で修理することを考えるかもしれません。このことは、ものを大切にする気持ちにつながるとともに、限りある資源を有効に活用するというライフスタイルに結びつきます。

おもちゃドクターの活動は、壊れたおもちゃの修理に留まらず、リサイクルの推進とゴミの減量化につながっているのです。

おもちゃドクターに関する問い合わせ先

環境ふくい推進協議会(福井県循環社会推進課)
TEL:0776-20-0317



はっらっ! アクティブシニア

第1回

高度成長を支え、あらゆる面で社会をリードしてきたアクティブシニア（元気な高齢者）の方々は、豊富な経験や知識・技術をお持ちで、この経験等を活かした新しい地域づくりが期待されます。

県は現在、アクティブシニアの方々に社会貢献活動を率先参加（リード）し、応援（バックアップ）してもらうための取組を実施しています。

そこで、積極的に社会貢献活動を展開しているアクティブシニアの団体を4回にわたりご紹介します。

『達年』地域ボランティア活動グループ

県は、アクティブシニアの社会参加の促進を図るため、介護や子育て支援等の活動をするボランティアグループ（『達年』地域ボランティア活動グループ※）を応援しています。その中から3団体をご紹介します。

※詳細は、[達年ボランティア 福井県](#)



★企画ボランティア微風★（福井市）

【活動拠点】福井・坂井地区、奥越地区、丹南地区

【活動内容】高齢者施設、病院、地域行事等で演芸を披露
（歌、踊り、演奏、マジック、漫談等）

【団体PR】

- ・高齢者や患者の方々などに‘いやし’を提供し、‘心のケア’をお手伝いします。
- ・様々な特技を持つメンバーがいます。童謡や詩吟、日舞やフラダンス、大正琴からハーブ…など。希望をお聞きし、いろいろな演目を組み合わせ、プログラムを作ります。
- ・参加型のプログラムを用意します。ともに楽しい時間を過ごしましょう！

【会員数】約25名（演芸を披露してくれる方は多数）



★子育てサロン サザエさん★（鯖江市）

【活動拠点】鯖江市 新横江地区

【活動内容】新横江公民館で子育てサロンを開催、読み聞かせやレクリエーションを実施

保育所等を訪問し、読み聞かせ等を実施

【団体PR】

- ・月1回の子育てサロンで、子どもたちとレクリエーション等を楽しみ、リフレッシュしましょう。お部屋の解放もしています。
- ・教員や保育士のOBの方、子育てサポーター養成講座を受講した方々が、子育て家庭を応援します。
- ・モットーは、子育て家庭を地域で支援しよう！

【会員数】18名（お手伝いをしてくれる方は多数）



★めめたんご★（美浜町）

【活動拠点】美浜町 東小学校区域

【活動内容】小学校1, 2, 3年生に本の読み聞かせや紙芝居等を実施。
保育所等に出向いたり地域行事等へも参加

【団体PR】

- ・週3回、小学生への絵本の読み聞かせ等を実施。紙芝居は手作りで、美浜町に伝わる民話を分かりやすく語り伝えます。
- ・女性にとってお昼に時間を空けることは大変ですが、子どもとふれあい、夢を広げられる楽しい活動は生きがいとなっています。
- ・ボランティアで大切なことは、楽しく、無理をせず、常に進歩していくこと。仲間とのつながりも大事です。

【会員数】14名



県内NPO活動紹介

平成25年度
県民社会貢献活動功労者知事表彰
越前こぶし組

概要

事務所: 大野市美川町1-14
T E L: (0779)-65-5877
関連HP: (社)大野市観光協会「人力車 越前こぶし組」
<http://www.ono-kankou.jp/kobushi/>

昔懐かしい人力車を活用した観光ボランティア



人力車を使った観光案内の様子

「人力車で楽しもう!」から始まった活動

430年以上の歴史をもつ城下町・大野。その情緒ある町並みを人力車で案内しているのが、観光ボランティアグループ「越前こぶし組」です。

「大正の頃、大野の町中には人力車がたくさん走っていたんですよ。こぶし組は、その人力車を復活させて、みんなで楽しもうという仲間が集ったことから始まりました」。活動を始めた当時を振り返ってそう話してくれたのは、番頭(事務局長)の横井さん。「でも、せっかく人力車を走らせるなら、人を乗せて、観光案内もしようということになって、今のような活動をするようになったんです。」平成8年に団体を立ち上げた当時は15人だった会員も、現在では51人にまで増えました。実際に人力車をひき、観光案内をする車夫は21人在籍しており、そのほとんどが、消防署員や会社員、美容師など、平日はさまざまな仕事をもつ個性豊かな面々です。また、今年の夏からは、全国的にも珍しい初の女性車夫も登場しました。「やっぱり乗った人に『楽しかった』『ありがとう』と言われるのはうれしいですからね。」と横井さんは活動のやりがいについて笑顔で話してくれました。

様々なかたちで 大野のイメージアップに貢献

こぶし組では、人力車での観光案内に、町中をめぐる3つの運行コースを設けており、これまでに約1,500組の観光客を案内しました。普段とは違う、高い目線から眺める古都の風景と、大野を知り尽くした車夫たちならではの情報を交えた案内が利用者に喜ばれ、今ではすっかり大野の観光名物となっています。また、結婚式等を盛り上げる「寿運行」や、地域の行事・イベント、市の出向宣伝への協力なども行っており、それらも含めると人力車に乗った人の数は10,000人以上になるといいます。

さらに独自事業として、平成12年には恐竜エキスポと連携した「第7回全国人力車サミット」、平成17年には団体の10周年と大野市・和泉村の合併を記念した「大和巡行(和泉村役場から大野市役所までのリレー運行)」を実施。平成23年度には大野市の市民協働推進事業の一環として、市内で結婚式を挙げるカップルを支援し、結婚意識の高揚を図る「おののハッピーブライダル応援事業」との連携を提案し、チラシの作成や啓発イベントへの協力なども行いました。

「人力車で案内していると、我が町、我がふるさとのいろんなことが見えてくる。それが自分たちにとってすごくプラスになっています。来年にはこぶし組も20周年を迎えるので、これまでの経験を活かして、多くの人に楽しんでもらえるようなイベントを考えていきたいですね。」最後に、横井さんは今後の活動への意気込みを力強く語ってくれました。



こぶし組のみなさん

平成25年度
県民社会貢献活動知事奨励賞 **タ ッ プ**
特定非営利活動法人 **THAP**

概要

事務所: 敦賀市若葉町1丁目504
T E L: (0770)-23-3005
E-mail: yutaro@mitene.or.jp
関連HP: <http://thap.jimdo.com/>

「ツヌガ君」とともに敦賀のまちを元気に!

きっかけは イベントでのボランティア!

「平成11年に開催された敦賀港開港百周年の記念事業『つるが・きらめき・みなと博21』でのボランティアがきっかけです。」NPO法人THAPの池田裕太郎理事長さんが、現在の活動の原点を話してくれました。

池田理事長さんは「60万人もの来場者を見込むイベントに、市民として何もなくていいのか」という思いから、市民ボランティアを募集。当初は少人数でのごみ拾いでもいいとの考えでしたが、最終的には、知人の協力で多数の団体の参加を得ることができ、ボランティア団体として、広報、催事、運営と色々な場面で活躍しました。

「もっと市民のみなさんと連携を深め、敦賀市のまちづくりに関わりたい」という自らの思いと、多くの方からの「その熱い思いを継続してほしい」という声に後押しされ、平成12年にボランティアグループ「THAP(Tsuruga Heartful Amenity Port and People)」を結成。平成16年にはNPOの法人格を取得しました。

様々な団体との協働!

平成12年からは、THAPが中心となり、市民が企画・運営する市民参加型のイベント「敦賀サマーフェスティバル」を9年間に渡り実施しました。

また、他市のイベントへの協力も行っています。「敦賀のイベントにはごみがひとつもないのです。敦賀方式のイベントと言われました。」その考えを基本に恐竜エキスポや若狭路博の開催時には、勝山



敦賀駅オルパークにて募金活動(とんとんキッズPJ)

市や小浜市へ応援に行くなど、市民ボランティア同志が地域を越えて交流しました。

さらに、THAPは、敦賀市や他のNPOと様々な協働事業を実施してきました。平成23年には、子育て支援活動を実施しているNPO法人等と協働で、東日本大震災の被災者支援を行う「とんとんキッズプロジェクト」を開始。平成24年には、歴史建造物である「赤レンガ倉庫」を敦賀のまちづくりの拠点とするべく、市民の立場で活用策を検討するため、赤煉瓦ネットワークの大会を敦賀に誘致し、企画・運営を行いました。現在、市は赤煉瓦倉庫を改修中であり、平成27年度完成に向け、市民が楽しめる施設になるよう模索しています。



ツヌガ君サンタで保育園訪問

市公認キャラクター 「ツヌガ君」とともに!

平成11年の記念事業時には「ツヌガ君」というキャラクターを製作し、保育園の訪問を行うようになりました。ツヌガ君は現在、敦賀市の公認キャラクターにもなっており、官民が一体となって敦賀のまちづくりのためにツヌガ君の活用事業を実行しています。

「『まちづくり』とは市民が主体となり、異なる環境で生きてきた者同士がボランティア活動を通じて連携を深め、自分たちの『まち』を、誇りをもって作り上げていくものと考えています。団体と行政、団体と団体の橋渡しを行い、多様な連携を作りたい。」と、池田裕太郎理事長さんは、最後に今後の活動について熱く語ってくれました。

ふくい県民活動・ボランティアセンターへ行こう!

Vol.1



AOSSA(JR福井駅東口)7階にあるふくい県民活動・ボランティアセンターは、ボランティア活動をはじめとする県民のみなさんのさまざまな社会貢献活動を支援する施設です。昨年4月に「ふくい県民活動センター」と「ボランティア・カフェ」が統合し、リニューアルオープンしました。このコーナーでは、リニューアルオープンから1年たったセンターのさまざまな設備や活用方法についてご紹介します。



NPO・ボランティアに関する相談窓口をご利用ください!

ボランティア情報が充実しています

「ボランティアを始めたいと思うけれど、どうしたらいいかわからない」、「県内のボランティア活動について、いろいろ知りたい」などという方は、ぜひセンターへご相談ください。

スタッフが皆さんのご要望をお聞きし、県が運営するボランティア・マッチングサイト「福井県社会貢献活動支援ネット」や各種団体の募集チラシ等の中から、観光やまちづくり、子育て、福祉、自然保護などさまざまな分野の情報をご提供します。

「福井県社会貢献活動支援ネット」に会員登録すると、パソコンやスマホで簡単にボランティア情報の検索や参加申込みができます。会員登録はこちらから↓(※会員登録は無料です)

<https://www.navi-fukui.jp/>

福井県社会貢献活動支援ネット

NPOに関する相談

センターには、県民活動相談員が常駐し、NPO法人の設立や団体運営についての個別相談も受け付けています。(予約は不要ですが、相談内容によっては、来所日を事前に調整させていただく場合もあります。)

「活動に参加してくれるボランティアを募集したい」、「助成金に関する情報が知りたい」などといったご相談もお気軽にお寄せください。

仕事帰りでも、休日でも、電話でも、相談できます

センターの開館時間は以下のとおりです

- ・火曜日～金曜日 9:00～21:00
- ・土曜日・日曜日 9:00～17:00

※月曜日、祝日(土日を除く)、年末年始はお休みです

開館時間内は電話相談も随時受け付けています。



相談員がお答えします

ボランティア・NPO

なるほどQ&A



Q ボランティアをはじめたいのですが、土日だけでも参加できる活動はありますか？

A 各種イベント等の運営補助や、病院・福祉施設でのボランティアなど、土日だけでも参加できるボランティアはたくさんあります。

ボランティア活動を始めるときに気を付けたいポイントの1つが、自分にあったボランティアを探して参加するということです。

- ・自分の活動しやすい日・時間帯はいつか
- ・活動するのに便利な場所はどこか
- ・自分の興味のある活動分野は何か

などについてよく考え、自分にぴったりのボランティア活動を見つけてください。それが活動を長続きさせる秘訣でもあります。

ふくい県民活動・ボランティアセンターにご相談いただければ、上記のようなポイントを確認しながら、みなさんのご希望に沿ったボランティア活動の情報をご提供します。

また、P6でご紹介した「福井県社会貢献活動支援ネット」では、ボランティアの募集情報をいつでも自由に閲覧できます。さらに、会員登録していただくと、登録時に入力していただく希望の「活動地域」「活動分野」「活動曜日」等に応じた募集情報がメールで配信され、常に最新の募集情報を得ることができます。この機会にぜひ、「支援ネット」への登録をお願いします。

コラム

災害ボランティアに関心のある方へ

「普段からボランティア活動に参加することは難しいが、災害が起きた時にはぜひボランティアとして被災した方の役に立ちたい」という思いを持っている方は多いと思います。

昨年9月に嶺南地域で発生した台風18号に伴う豪雨災害の際にも、県内外からたくさんのボランティアが駆けつけ、被災家屋の清掃やがれき撤去などの活動を行っていただきました。

福井県では災害ボランティアの登録を平時から受け付けています。登録していただくと、災害が発生しボランティアを募集する際には、いち早く募集人数・受付場所等の情報をメールでお知らせします。

災害ボランティアへの登録は「福井県社会貢献活動支援ネット」から。会員登録の際に、活動分野で「災害救援」を選択してください。

登録画面イメージ

活動分野	
必須	
<input type="checkbox"/> 保健、医療、福祉の増進	<input type="checkbox"/> 国際協力
<input type="checkbox"/> 社会教育の推進	<input type="checkbox"/> 男女共同参画社会の形成
<input type="checkbox"/> まちづくりの推進	<input type="checkbox"/> 子どもの健全育成
<input type="checkbox"/> 観光の振興	<input type="checkbox"/> 情報化社会の発展
<input type="checkbox"/> 農山漁村、中山間地域の振興	<input type="checkbox"/> 化学技術の振興
<input type="checkbox"/> 学術、文化、芸術、スポーツの振興	<input type="checkbox"/> 経済活動の活性化
<input type="checkbox"/> 環境の保全	<input type="checkbox"/> 職業能力の開発、雇用機会の拡充
<input checked="" type="checkbox"/> 災害救援	<input type="checkbox"/> 消費者の保護
<input type="checkbox"/> 地域安全	<input type="checkbox"/> 市民活動(団体)の援助
<input type="checkbox"/> 人権の擁護、平和の推進	<input type="checkbox"/> その他

全て選択 全て未選択

支援ネットへのボランティア会員登録方法

会員登録をしてボランティアに参加しよう！

ボランティア会員登録

こちらから会員登録ができます。
個人、団体から種類を選んでください。



個人でボランティアに参加したい方は
ココをクリック！

NPO・市民グループの方は
ココをクリック！



福井県社会貢献活動支援ネット

<https://www.navi-fukui.jp>

ボランティア関連情報

NPO関連情報

● サマーボランティア体験2014
参加者募集

夏休みにボランティアしませんか？
豊富なボランティア活動プログラムの中から、興味のある活動を選んで体験できます。
体験期間：7月21日(月)～9月30日(火)
参加対象：福井県内に在住・勤務する小学校高学年以上の方(ただし、小学生は原則保護者同伴とします。)

主な活動プログラム

- ・福祉施設等での利用者の介護・介助等
- ・福祉施設等での利用者との交流、レクリエーションの手伝い
- ・施設行事や地域で実施されるイベント等の運営協力
- ・NPOやボランティアグループが行う活動への参加



※体験できるボランティア活動の一覧(活動プログラムガイド)は、市町社会福祉協議会や公民館にあります。また、福井県ボランティアセンターのホームページからご覧いただけます。
<http://volunt.f-shakyo.or.jp/>

参加経費：活動諸経費(ボランティア活動保険料300円、交通費、食事代等)は原則として自己負担

申込み先：福井県社会福祉協議会
ふくい県民活動・ボランティアセンター(保険申込は除く)
各市町社会福祉協議会

問合せ先
福井県ボランティアセンター
(福井県社会福祉協議会)
☎ 0776-24-4987
✉ volunt@f-shakyo.or.jp

● NPO法人の会計・税務相談

計算書類の作成や税金の申告などの会計処理について、専門家(税理士)による個別相談会を開催します。

開催日：8月6日(水)、9月3日(水)

時間：13:30～16:30の間(完全予約制)

1法人当たりの相談時間は45分程度

参加費：無料

場所：ふくい県民活動・ボランティアセンター

申込み：各相談日の前週の金曜日までに電話かメールでお申込みください(先着順)

申込み・
問合せ先

ふくい県民活動・ボランティアセンター
☎ 0776-29-2522
✉ f-npo-c@ceres.ocn.ne.jp

● 事業報告書の提出はお済みですか？

NPO法人は、法律により事業年度終了後3カ月以内に事業報告書を所管庁(福井県)に提出する必要があります。また、役員変更(再任も含む)があった場合は、「役員変更届出書」の提出も必要です。

提出書類の様式は、ふくい県民活動・ボランティアセンターのホームページからダウンロードできます。
(<http://info.pref.fukui.jp/danken/npo/>)

問合せ先

ふくい県民活動・ボランティアセンター
☎ 0776-29-2522
✉ f-npo-c@ceres.ocn.ne.jp



NPO・ボランティアに関するご相談は…

ふくい県民活動・ボランティアセンター

住所 〒910-0858 福井県福井市手寄1丁目4-1 (AOSSA7階)

TEL 0776-29-2522

FAX 0776-29-2523

E-mail f-npo-c@ceres.ocn.ne.jp

開館時間 火曜日～金曜日 9:00～21:00
土曜日・日曜日 9:00～17:00

休館日 月曜日、祝日(祝日でも土・日は開館)、年末年始

アクセス JR北陸本線「福井駅」より徒歩1分
えちぜん鉄道「福井駅」より徒歩1分